

# Report

## 北のさいいはて、利尻島における 地域医療のモデル的展開③

医療ジャーナリスト 北川 巳代

離島医療のハンディをカバーするために高度先進医療機器も一役買っていた。シリーズ締めくくりにの今号では、利尻の医療に対する地元行政の方針や住民の実態、利尻島国保中央病院診療実績経営面の実情などを中心にお伝えする。

### 医師たちのがんばりに応えて 町もできる限りの支援体制で臨む

利尻島国保中央病院のある利尻町でも、少子、高齢化現象は著しい。昭和六〇年には一七・九%であった高齢化率は、平成二年には三三・四%、昨年には二四・三%に増えている。つまり六五歳以上の人が四人に一人を占めていることになる。これは全国平均(二二・一%)の二倍近い数字である。総人口、特に幼年人口や前期生産年齢人口の大幅な減少が、こうした動向の大きな要因となっている。そこで同町では、これからの町づくりに①定住人口の増加策、②高齢者対策——の二つを重要な柱として位置づけている。

三三人(六%)で、この人たちが現役でウニや昆布を取っている(二〇代は一〇人くらい)。こうした状況下の町の施策には、一時は地域社会存続への危機感すらあった。だからこそ住民が将来にわたって安心して住み続けられるよう、地域開発と地域の活性化、老後の福祉環境などとともに、医療のあり方に大きな関心が寄せられてきたわけである。利尻町長の糸谷克明氏はこう語る。「北海道には北海道開発庁の下に二三支庁があります。利尻町が所属する宗谷支庁では一市九町村すべてが医療過疎の状態にあり、各首長がみな対策に苦慮しています。そうしたなかにあ



画像伝送システムを用いて離島医療のハンディをカバー

る限りの支援、協体制で臨んでいきます。進歩の激しい医療機器なども七〇、八〇%は要求を入れてはいるつもりです。先生方の必要なことは住民の幸せにつながることですからね」

糸谷町長によると、バブル崩壊後の不景気で最近、若者のUターン現象も少しずつみられるという。

これらにさらに期待しながら、漁協の閉鎖性の改善、管理漁業による資源の確保(ウニや昆布の養殖)、二〇〇カイル規定の順守への働きかけ、などによる振興策を図っている。

「ついにながら夏場(七月一―二〇日がピーク)の超繁忙期には早朝の、干しっ子のアルバイトがぜひ必要です。若者など団体向けの自然の家も今年オープンしました」と糸谷町長。

なお、島の人の暮らし向きは全体的にそう悪くない。生活保護も少なく、

老いても子供のもとへ行かず一人暮らしでがんばる傾向にある。特別養護老人ホームは二カ所(三〇床)のみ。隣の利尻富士町に二カ所(五〇床)で満床。町では訪問看護(社協のヘルパー四人、町の看護婦二人)など在宅サービスに力を入れており、病院との連携システムを構築中である。その一方で施設サービスも一体的に進め、来年には総合ケアセンター建設に向けた計画もあるという。

「離島の厳しい生活環境のなかで生きてきた老人に、安心して生きがいのある生活を送ってほしい」との思いが強いわけだ(糸谷町長)

それと同時に安心して出産できる体制作りも考えている。利尻島では年間六〇人の出生があるが、そのうち五〇人くらいは稚内や札幌で出産している。利尻島国保中央病院ではこれまで産科医は常駐せず、月に四日間札幌医大から出張してもらっていた。しかしこのほど五億円の予算で産婦人科棟の増築が決定。現在工事中で九七年四月には完成する予定だ。

このような地元行政スタンスによって医師らの「やる気」もさらに出てくるといえるのであろう。もともと、そこに至るまでには一時はかなりの確執もあり、両者の努力があったようだ。

<表1>年度別医療機器購入物品(昭和61年~平成7年)

昭和61年 回診用コンデンサX線装置 ベネット人工呼吸器MA-1型 患者輸送車 NEC N-5200モデル07 デシントメーター(コーニング760型) 十二指腸ファイバースコープ クロライドメーター(コーニング925型)	平成4年 ポータブルフイープリレータ TEC-8251 比色/酵素アナライザー富士ドライケム5500 全自動酸化エチレンガス滅菌器 クボタターボトップ遠心器 5100 包帯交換車及び回診車
昭和62年 超音波診断装置 無線血圧監視装置 電気温熱治療装置	平成5年 島津診断用X線テレビジョン装置 人工呼吸器サーボペンチレーター 患者輸送車 ユニバーサル光源装置 骨量ファントムMA2000 睡眠時無呼吸モニター 24時間携帯型自動血圧計 アントセンス血糖測定装置 オリンパス内視鏡トローリ-TC-2 オリンパス内視鏡用吸引ポンプ
昭和63年 X線テレビ装置 オリンパスファイバースコープ 分光光度計 長時間心電図計 電動式動脈止血器	平成6年 カラードップラー(超音波診断装置) 超音波内視鏡 自動血球計数装置 臨床検査自動化システム 静止画像伝送システム 高周波焼灼電源装置 JMSシリンジポンプSP-100 サンヨーインキュベーター及び恒温乾燥機 全自動高圧蒸気滅菌器 トーション錠剤粉砕器
平成元年 フジ自動現像器 FPII-5000 検査システムバージョンアップ オリンパス十二指腸ファイバースコープ 多要素心電計 分焼監視装置	平成7年 一般撮影用X線装置 血液ガス分析装置 CT-W45型 CT装置X線管 全身麻酔器 MP-702 ナースコール 設備改修工事(修繕) 全自動高圧蒸気滅菌器 自動分包器 自動血圧計 携帯用心電図 手洗い刷子消毒NT-224
平成2年 ライフスコープ 8041A 大腸ファイバースコープ 輸液ポンプ OT-501JMS シリンジポンプ SP-100JMS 電灯付肛門鏡 自動血圧計	
平成3年 日立全身用CTスキャン 電解質分析装置 薬用保冷庫 内視鏡TV装置	

### 全身CT、超音波内視鏡も導入、 離島のハンディをカバー

このような行政の理解のもとに、同病院が導入している医療機器はカラードップラーや全身X線CT、超音波内視鏡をはじめかなりの多種に及ぶ(表1参照)。同病院が日常診療のなかで、がんや

成人病の早期発見、治療のために積極的に検査を行っていることは前にも述べた。

年間の上部消化器内視鏡検査は約一〇〇〇件(夏場の漁の繁忙期、観光シーズンには、ストレス性の胃・十二指